

技術委員会報告

～小学校体育サポート「サッカー」指導者講習会～

2019年8月23日（金）於：防府市立新田小学校

日本において、スポーツと教育は密接に関わり合っています。この状況の中、サッカーの経験が少ない方でも、学校教育の視点をおさえ、同時に児童にサッカーの楽しさを伝えることができるように、JFAの学校体育プロジェクトが数年前より行っている標記研修会が、8月23日（金）に防府市立新田小学校にて行われました。



JFAよりプロジェクト講師の尾形行亮氏においでいただき、防府市の小学校体育主任研修会で実技と講義を行っていただきました。

サッカーの指導では、『ウォーミングアップ～TR1～TR2～ゲーム』という流れがあります。最後のゲームでどのようなことが発揮できるかを考えて「逆算の発想」で1回のトレーニングを計画するのですが、本研修会も「逆算の発想」から、授業を計画していること、各単元

を8時間で構成しており、学校の授業で利用しやすい内容であることなど、先生方には非常に興味深い内容でした。

実技では、新聞紙を丸めて買い物袋と接着テープを使って「マイボール」を製作するところから始まりました。技術差が少なくなる新聞紙のボールを使って、体育館で行うことで、先生方にもサッカーが扱いやすい種目になるのではないのでしょうか。

アイスブレイクなど、サッカーの指導でもよく使う手法を用い、最後はゲームで終わるという一連の流れを、暑い中ではありますが、小学校の先生方はサッカーの指導における「NO LINE（待ち時間がない）」を楽しく体験しておられました。



アセスメントでは、「今日の活動は、すごく人間関係も育てられると思いました。学級経営にもつなげていけると思いました。」「様々な道具がありましたが、手作りの物も含めて身の回りにあるもの



を使われていた。自校でもできるなと感じた。」「授業でやってみようと思います。」「この研修はぜひ体育の苦手な先生が受けられるとよいと思いました。」など、大変充実した講習会であったことを裏付ける感想をたくさんいただきました。

今後もこのような研修会を県内で実施していきたいと考えています。「本研修会を自校で」「我が市の研修会でぜひ」とお考えの教職員の方がおられましたら、本協会にご一報ください。

【文責 技術委員長】